

平成23年12月4日(日) 読売新聞朝刊



ジビエ料理のパスタを出品した堀江さん(左)

## 有害獣「おいしい」

### パスタ、シニューマイに変身

「ジビエ料理」  
県コンテスト

捕獲した野生のイノシシやシカを食材とするジビエ料理のコンテスト「ジビエ・グルメ・グランプリ」(県農林水産部主催)が3日、豊田市武節町の道の駅「どんぐりの里いなぶ」で開催され、雨模様の中にもかかわらず家族連れら約2000人が集まった。

コンテストには、豊田市のほか、名古屋、岡崎、尾張旭、瀬戸市などから12店が参加。東郷町でパスタ店を開く堀江政史さん(33)は、ショートパスタのソースの素材として使用。「イノシシの肉は焼いた

だけのステーキでもおいしく驚いた。ペーストにした柿で肉を煮て、オリジナルの味に仕上げた」と話した。

名古屋市の大宝運輸は「地域振興に役立つことをしたいと参加した。森林破壊の問題で獣害対策に関心があった」(営業開発部の久保田直さん)と、飲食店ではないが出店。イノシシとシカ肉をミンチに

してシニューマイに仕上げ、用意した100食は完売した。

夫婦で来場し、4種類食べたという同市北区の中島奈津子さん(54)は、「昔食べたイノシシ鍋の肉が臭かったので抵抗があったが、どれもおいしかった。店頭で売り出してほしい」と話していた。同グランプリは4日まで開催される。